

# 持続可能な社会づくりに挑戦

## 「マスマス元肥」で富士宮を「ますます、元気に！」



「マスマス元肥」の取り組みに意欲を高める杉山会頭(左から2人目)ら

2016年に市内の高校生が集まり、地域活性化プロジェクトの取り組みを開始。19年に地元有機堆肥メーカーの協力で、日本の養殖量を誇るニジマスを加える際に毎月約20トンを発生する廃棄物の有効活用へ、朝霧の牛糞(ふん)をほぼ半量ずつ加えて熟成発酵したりサイクル堆肥「マスマス元肥」を開

### 富士宮高校会議所

富士宮高校会議所 土宮市などと協力して(杉山栄奈会頭・富士宮北3年)は市内の学に挑戦している。SD校、農家、菓子店、富G s実践として注目



活動についてプレゼンする会員

### 初のSDGs実践の堆肥化許可

発・発売した。

SDGs実践・炭素削減活動としての川魚による堆肥化許可は日本初の取り組み。通常の堆肥と比べ、肥料の3大元素のチッソ成分は同等程度だが、花や実などに有効とされるリン酸分が8・4倍、根の発育を促すカリウム分が6・4倍でアミノ酸の含有量が多く、野菜や草花、果樹及び土壌の微生物により影響を与えると好評。富士宮市西町のレトロ館 金調達に成功した。22りに着手した。年度は「マスマス元肥」ふじのみや資材館で販売している。

### 耕作放棄地でプロジェクト

21年度はクラウドファンディングにチャレアンディングにチャレンジして広報活動と資地を活用した野菜づく



イラスト入りの「マスマス元肥」



ヒマワリ迷路で子供たちを楽しませる



JAふじのみや資材館で販売促進

### ヒマワリやカボチャ栽培

23年度は「よみがえりプロジェクト」を土宮市やJA、学校などとの協力により特産の第2弾として高校生落花生栽培に使用すると小学生がジャンボカボチャとヒマワリを栽培



藤太郎とコラボしてシフォンケーキを開発

スメンスクラブや全国ユース環境活動関東地方大会、ボランティアアワード2023全国大会等で事例発表したほか各賞を受賞。SDGsパートナーシップBOOKに活動が掲載され、22年グッドデザインしずおか特別賞を受賞した。岡山県笠田視察に来訪したり、東洋大学やワイズメンズクラブなどと交流会を開いたり、持続可能な社会創りに向けてSDGs実践や富士宮を元気にする活動を展開する。

杉山会頭は「マスマス元肥がどのような農産物に適すのか、また耕作放棄地でのチャレプロジェクトを通じた新たな特産品の創出を目指す。採れた農産物からスイーツなど製造し、ヒマワリやジャンボカボチャの栽培を通じて楽しみなながらSDGs活動を実践してビジネスイノベーションとして成立させたい」と意欲を語る。

# NOVA 2024